



Mercedes-Benz

Press Information

2011年5月18日

7年ぶりにフルモデルチェンジ

メルセデス・ベンツ新型 SLK の予約注文を開始

- ・ 世界初「マジックスカイコントロールパノラミックバリオルーフ」が登場
- ・ スポーティでスタイリッシュな新デザインの内外装
- ・ 充実の装備と高い環境性能を備え 525 万円から

メルセデス・ベンツ日本株式会社(社長:ニコラス・スピークス、本社:東京都港区、以下MBJ)は、メルセデス・ベンツの2シーターオープンカー「メルセデス・ベンツ新型SLK」を7年ぶりにフルモデルチェンジし、本日MBJとして初の試みとなるWEB発表会を行なうと同時に、全国のメルセデス・ベンツ正規販売店ネットワークにて予約注文を受付開始いたします。(お客様への納車開始時期は7月頃を予定)

今回7年ぶりにフルモデルチェンジを行なった新型SLKは、デザイン、装備、走行性能、そして環境性能など、メルセデスのロードスターとしての価値をいっそう高めています。

新たに採用される「マジックスカイコントロールパノラミックバリオルーフ」は、バリオルーフを閉じていてもスイッチ1つでルーフの濃淡を切り替えることができ、季節や天候を問わずオープンエアなみの開放感を味わうことができる世界初のシステムです(9月より納車予定)。

新型SLKのエクステリアは、ロングノーズショートデッキのエlegantなサイドプロポーションと、大きなフロントグリルのセンターにスリーポイントドスターを配し、SLS AMGや新型CLSと視覚的なつながりを持つダイナミックなフロントデザインが特徴です。また、一新されたフロントデザインはLEDドライビングライト、LEDポジショニングライトなどにより、より先進的なイメージが加えられました。

インテリアは、センターコンソールを中心に左右に広がる航空機のウイングを思わせるフラットなダッシュボードや、メタル仕上げを施した4ヶ所のエアコン送風口、アルミニウムもしくはウッドを用いた上質なインテリアトリムなどにより、高品位かつスタイリッシュでスポーティなデザインとなりました。ライト点灯時には、センターコンソールやドアトリムにLEDのアンビエントライトが赤く浮かび上がり、夜間走行における室内の雰囲気を高めています。なお新型SLKにも、冬のオープンドライブ時に乗員の首周りを温風で温めるエアスカーフが引き継がれています。また、ロールバー背面に装着される新開発のピボット式ドラフトストップ「エアガイド」は、操作性、デザイン面において一層向上され、オープンエアドライブの快適性を確保いたします。

搭載されるエンジンは、メルセデスの最先端テクノロジーを駆使し、パワフルかつ燃費
経済性を大幅に高めた直噴エンジンです。

SLK 200 BlueEFFICIENCY (Sports含む)は、直列4気筒直噴ターボエンジンを搭載し、
1.8リッターのながら最高出力135 kW (184PS)を発揮、最大トルクは250Nmと従来型より
10Nm向上いたしました。さらに7速オートマティックトランスミッション「7G-TRONIC PLUS」との
組み合わせにより、このセグメントでトップクラスの経済的なロードスターとなっております。

SLK 350 BlueEFFICIENCYに搭載の新開発3.5リッターV型6気筒直噴エンジンは、
高噴射圧のピエゾインジェクターによりリーンバーン(希薄燃焼)を可能とした最先端技術
BlueDIRECTテクノロジーやECOスタート/ストップ機能(アイドリングストップ機能)を採用し、
最高出力306PS/最大トルク370Nmのすぐれた動力性能を実現しながら、大幅な燃費
経済性の向上を実現しています(7.1リッター/100 km(≒14.1Km/L 欧州NEDC総合モード
参考値)。SLK 350 BlueEFFICIENCYにも新世代7速オートマティックトランスミッション
「7G-TRONIC PLUS」を搭載しています。

※ 数値は全てヨーロッパ仕様車参考値です。

メルセデス・ベンツ SLKは、1997年にリトラクタブルハードトップ「バリオルーフ」を備えた
全天候型オープンカーとして登場。2004年には乗員の首回りに温風を吹き出し、冬でも
快適なオープンエアドライブを可能にする「エアスカーフ」を採用した第2世代モデル
となり、このカテゴリーのパイオニアとして高く評価されてまいりました。

ラインアップ

SLK 200 BlueEFFICIENCY Sports

最新型COMANDシステム、17インチホイール、バイキセノンヘッドライト、インテリジェントライトシステム、LEDドライビングライト、パドルシフトなどを標準装備し、車両本体価格を525万円に抑えながらSLKの魅力を詰め込んだモデル。

SLK 200 BlueEFFICIENCY

SLK 200 BlueEFFICIENCY Sportsの装備に本革シート、メモリー付パワーシート、エアスカーフ、エアガイドなども標準装備。さらに、マジックスカイコントロール パノラミックバリオルーフやフルレザー仕様、ウッドインテリアトリムなど多彩なオプションをご用意したモデル。

SLK350 BlueEFFICIENCY

SLKに新たに採用されたダイナミックハンドリングパッケージを標準装備することで、より走行性を強化するとともに、BlueDIRECTテクノロジーとECOスタート/ストップ機能の採用により環境性能の向上も図ったSLKの上級モデル。

また、全てのモデルでAMGスポーツパッケージをオプションにて選択いただくことが可能です。

メーカー希望小売価格(消費税込み)は以下の通りです。

| モデル | ステアリング | エンジン | メーカー希望小売価格 ()内は消費税抜き車両本体価格 |
|-------------------------------|--------|-------------------|--------------------------------|
| SLK 200 BlueEFFICIENCY Sports | 右 | 1.8L 直 4 直噴ターボ | ¥5,250,000 (¥5,000,000) |
| SLK 200 BlueEFFICIENCY | 右 | 1.8L 直 4 直噴ターボ | ¥5,800,000 (¥5,523,810) |
| SLK 350 BlueEFFICIENCY | 左/右 | 3.5L V6 直噴 | ¥7,700,000 (¥7,333,334) |

* 上記のメーカー希望小売価格は、付属品価格、税金(消費税を除く)、保険料、登録に伴う諸費用を含まない車両本体価格です。また「自動車リサイクル法」に基づく、リサイクル料金が別途必要となります。

なお、新型SLKにも、メルセデス・ケア(3年間走行距離無制限の無料修理・無料メンテナンスと24時間ツーリングサポート)が適用されます。また、メルセデス・ケアの一般保証および24時間ツーリングサポートを有償にて最大2年間延長するプログラム「My Mercedes サポート」もご用意しております。

自動車誕生 125 周年

カール・ベンツが独自に開発した 3 輪自動車の特許を申請したのは、1886 年 1 月 29 日。それ以降、この日は自動車が正式に誕生した日とされ、2011 年に 125 周年を迎えます。カール・ベンツが自動車を発明した同じ時期に、ゴットリーブ・ダイムラーは世界初の 4 輪自動車を開発していました。現在のダイムラー社とその中核ブランドであり世界的な成功を収めているメルセデス・ベンツの創始者である 2 人は独自に開発を進めながら、今日のすべての乗用車、商用車、バスの土台を築き上げたのです。自動車を発明したメルセデス・ベンツはこれ以来、駆動技術から快適性や安全性、そしてデザインに至るすべての分野において、他のいかなる自動車メーカーよりも多様に、かつ長い期間にわたり自動車の開発を続けてきました。

カール・ベンツは「The love of inventing never dies（発明への情熱は決して消えることはない）」という言葉を残しました。そして、ゴットリーブ・ダイムラーは、「The best or nothing（最善か、無か）」という有名な言葉を残しています。メルセデス・ベンツはこの基本理念に 125 年間忠実に行動してきました。“The spirit of innovation（革新の精神）”は、個人のモビリティを将来の世代にも保証し、それぞれのお客様のニーズに合った最適なクルマをお届けするという目標とともに、メルセデスの企業文化に深く根付いています。この革新はメルセデス・ベンツの系統化された研究活動を基盤としており、1970 年代初めには独立した研究部門を正式に設立しました。現在、メルセデス・ベンツには 1 万 9,000 人もの研究者と開発者からなるグローバルな知識共有ネットワークがあります。この開拓者精神、専門知識、意欲にあふれ、幅広い分野をカバーするシンクタンクを使い、メルセデス・ベンツは世界で最も優れた自動車を将来にわたりお届けしていきます。